

小平市 **みどりの** 基本計画

2010



やさしく歩ける
水と緑の美しいまち



平成22年(2010年)3月

小平市

はじめに

やさしく歩ける水と緑の美しいまちをめざして

- 小平市みどりの基本計画改定にあたって -

小平は、かつて荒野が広がり集落はありませんでした。長い間、人の住めなかったその荒野は、先人たちの幾世代にもわたる努力と忍耐により開墾され、耕され、現在に至っています。その生活の営みには、玉川上水や用水路、短冊状の農地、屋敷林と雑木林といったみどりが密接に関わっていました。そのような意味で、これらのみどりは日々の生活に欠かせない農村集落の共有の財産として大切に引き継がれてきたものと言えます。

現在、これらのみどりは、日常生活に不可欠なものとしての役割は失われつつありますが、開拓時代の歴史を物語る武蔵野の風情としての景観、自然と共生する都市環境、レクリエーションの活用や災害時の避難地などの「都市のみどり」としての役割が期待されています。

小平市では、平成 18 年 3 月に「躍動をかたちに 進化するまち こだいら」を将来都市像とした小平市第三次長期総合計画（こだいら 21 世紀構想・前期基本計画）を策定し、さらに平成 19 年 3 月には小平市都市計画マスタープランを改定し「水環境の再生や緑を守り生み出す地球環境にやさしいまち」をめざして、みどりを活かしたまちづくりのために数々の施策を進めているところです。

このような中で、平成 20～21 年度の 2 年間を検討期間として、小平市をみどりあふれるまちとするために、みどりの総合的な整備・保全の方針を計画的かつ体系的に定め、また効果的に施策展開することを目的として小平市みどりの基本計画を改定いたしました。

最後に、計画の改定にあたって、小平市みどりの基本計画検討委員会の方々をはじめ、みどりのまちづくりアンケートや懇談会などに参加いただき、お力添えいただきました皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成 22 年（2010 年）3 月

小平市長 **小林正則**



小平市みどりの基本計画改定の視点

平成 12 年（2000 年）の旧計画策定時点から 10 年経過し、土地利用動向の変化をはじめとして少子高齢社会の到来に見られるように、社会構造そのものも変化を見せています。このため、新しい計画では、これらの変化に対応しながら、これからの 10 年のみどりのまちづくりのために、次のような視点で改定を進めました。

1 旧計画の理念の継承

旧計画では、小平グリーンロードを骨格としてみどりの構造を明らかにし、ネットワーク性を重視した「つながり」をキーワードに計画を策定しています。新しい計画でも旧計画の理念を踏まえて、小平のみどりの基本構造である水とみどりのネットワーク・みどりの拠点・みどりのゾーンの構成を踏まえて計画を策定しています。

2 新しい計画で重視した視点

(1) 量の確保から質の向上へ

みどりの不足の解消も必要ですが、今あるみどりを上手に活用しながら質の高いみどりへと育て、維持していく視点を大切にしています。

(2) 見えるみどりを充実していく

限られた経費を有効に活用していくには、多くの市民に広くみどりの効果をもたらすことが求められます。みどりの効果をより高くもたらすために、そして、みどりが増えたと市民が実感できるために、普段の暮らしの中で見えるところにみどりを増やしていくことを重視しています。

(3) 市民主体の協働へ

みどりの空間は市民共有の財産であるとの視点に立ち、行政の事業に参加するという受動的な協働から、市民の力をみどりのまちづくりに反映していくという、能動的な協働を進めていくことを大切にしています。

(4) 実効性を踏まえた計画の策定

この計画では、「やりたいこと」をたくさん盛り込むことはせずに、これからの 10 年間に優先的・重点的にやるべきことを「重点施策」として取り上げ、実行力を高く保つように工夫しています。

「みどり」と「緑」について

小平市では、「みどり」を雑木林、屋敷林、農地、用水路、河川、住宅地の植栽地、公的空間の植栽地などの緑地空間に加えて、良好な景観地、歴史性、市民生活との関わりなど、多くの価値観を持つ概念として捉えています。単に「緑」と表記したときは、樹木など植物そのもの、あるいは、植物が生育している場所を指します。計画の内容によって個別の要素を強調する必要がある場合は、「水と緑」などとして表記しています。

このように、みどりを幅広く扱う計画のため、一般に「緑の基本計画」と呼ばれる計画の名称を「みどりの基本計画」としました。

目 次

第1章 みどりの基本計画の概要	1
1 みどりの基本計画とは.....	1
(1) 計画の背景	1
(2) 計画の位置づけ	2
(3) 計画の期間	2
2 みどりの基本計画の構成.....	3
3 目標年次と計画の枠組み.....	4
(1) 目標年次	4
(2) 計画の枠組み	4
4 みどりの意義と役割.....	5
(1) 小平にとってのみどり - みどりの意義 -	5
(2) 計画の分野と主な対象	6
(3) みどりの役割	7
第2章 みどりの現況と特性	8
1 小平市の概況.....	8
(1) 位置と面積	8
(2) 都市の特性	9
(3) みどりの特性	10
(4) 人口	11
(5) 土地利用	12
2 小平市のみどり.....	13
(1) 緑被率	13
(2) 公園などの施設緑地	17
(3) 樹林地などの地域制緑地	19
第3章 みどりについての市民の意識と意向	20
1 アンケート調査の概要.....	20
2 みどりのまちづくりアンケートの調査結果.....	20
(1) 回答者の属性	20
(2) 小平のみどりの印象	21
(3) 雑木林と農地	21
(4) 都市の緑化	22
(5) 公園	23
(6) あかしあ通り	25
第4章 計画に向けての課題	26
(1) 水と緑のネットワークを充実する	27
(2) みどりを保全する	27
(3) みどり豊かなまちを創る	28
(4) みどりの質の向上を図る	28
(5) 参加・協働の仕組みをつくる	29

第5章 水と緑のまちづくりの目標とみどりの将来構造	30
1 水と緑のまちづくりの目標と基本方針	30
(1) 水と緑のまちづくりの目標 - みどりの将来イメージ -	30
(2) 基本方針	31
2 みどりの将来構造	32
(1) みどりの将来構造の考え方	32
(2) みどりの将来構造の内容	33
(3) 小平すみどりの将来構造図	36
第6章 水と緑のまちづくりの施策	38
1 実現のための施策の方針	38
2 施策の内容	39
(1) みどりを切れ目なくつなぐ	39
(2) みどりを次代へ引き継ぐ	40
(3) どこからでもみどりが見える	41
(4) 質の高いみどりを育てる	42
(5) みどりを市民が支える	43
第7章 重点施策	44
1 みどりを切れ目なくつなぐ	45
2 みどりを次代へ引き継ぐ	47
3 どこからでもみどりが見える	49
4 質の高いみどりを育てる	51
5 みどりを市民が支える	53
第8章 地区別計画	55
1 小川駅周辺地区	56
(1) 特性	56
(2) テーマと目標	57
(3) みどりの方針と将来イメージ	57
2 花小金井駅周辺地区	59
(1) 特性	59
(2) テーマと目標	60
(3) みどりの方針と将来イメージ	60
3 小平駅周辺地区	62
(1) 特性	62
(2) テーマと目標	63
(3) みどりの方針と将来イメージ	63
4 鷹の台駅周辺地区	65
(1) 特性	65
(2) テーマと目標	66
(3) みどりの方針と将来イメージ	66

5	一橋学園駅周辺地区	68
(1)	特性	68
(2)	テーマと目標	69
(3)	みどりの方針と将来イメージ	69
6	新小平駅・青梅街道駅周辺地区	71
(1)	特性	71
(2)	テーマと目標	72
(3)	みどりの方針と将来イメージ	72
7	東大和市駅周辺地区	74
(1)	特性	74
(2)	テーマと目標	75
(3)	みどりの方針と将来イメージ	75
8	緑化重点地区	77
第9章 計画の推進に向けての取り組み		78
1	事業推進体制の強化	78
(1)	三者協働による計画の推進	78
(2)	多摩六都、東京都、国との連携	78
(3)	庁内体制の強化	78
2	計画の進行管理と中間見直し	79
(1)	PDCA サイクルによる順応的な対応	79
(2)	実施状況の点検・評価	79
(3)	中間年次における評価と中間見直し	79
資料編		81

本文中のわかりにくい用語や専門用語については、資料編 97 ページの「資料 7 用語の解説」をご参照ください。

本冊子に使用した地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を複製したものです。無断複製を禁じます。(承認番号) 21 都市基交第 524 号